

全国訪問教育研究会

第33回沖縄大会（WEB開催）開催要項

2020年9月1日

※今回の大会はオンラインでの開催となります。

※ライブ配信があるため、参加者数を250名までとさせていただきます。参加費は無料です。

申込方法をご確認の上、ご参加ください。

■WEB開催にあたって■

本大会につきましては沖縄県那覇市を会場として開催することで準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大が続き、今後の状況も見通しがもてない状況です。大会関係者の多くが障害の重い子どもたちに関わる教員、福祉関係者、医療関係者であること等を鑑み、参加者・関係者の健康面・安全面を最優先すべきであること、また沖縄県の医療を守るためにも、会場にお集まりいただいていた開催は困難と判断いたしました。

誠に残念ではありますが、今大会はWebを用いたオンライン開催とさせていただきます。ご参加を予定されている皆様におかれましては、ご不便をお掛けいたしますが、ご理解を賜りますとともに、奮ってご参加いただきますよう、心からお願い申し上げます。

全国訪問教育研究会会長 檜木 暢子

■大会長あいさつ■

第33回全国大会（沖縄）のサブテーマ『結（ゆい）つながろう つなげよう』には、『紡ぐ（より太く）』『継ぐ（次へと継承する）』『繋がる（離れていても）』それを「結ぶ」という意味が込められています。遠く離れた沖縄から全国へ、一人で授業を行う訪問担当者同士の関係性を「より太く紡ぎ、次へ引継ぎ、離れていても繋がりを大切に それを結ぶ大会」その願いを込め、沖縄県訪問教育研究会で考えたテーマです。私が初めて全訪研に参加して『一人で訪問の授業を行い、教材研究もうまくいってない。これでいいのだろうか』と不安に思っていた自分に「今、授業をしていること、間違っていないよ。大丈夫だよ。」と後押しされ、安心し、心強く思ったことを覚えています。全訪研から帰ってきて、訪問担当者と話し合い、教材を共同で作ったり、校内の職員、保護者に訪問を知ってもらうことを目的に訪問新聞も毎月発行し・掲示したりしました。保護者と一緒に全訪研に参加するということができました。特に、2007年の兵庫大会（神戸）は、重度重複児童生徒の保護者と職員（訪問担当以外も）が合わせて10名程度で参加したと覚えています。全訪研での研修だけでなく、姫路城、異人館や神戸牛など、みんなが楽しみたいことを一緒に経験することができ、とても有意義だったことを思い出します。

“沖縄大会”は、何年も前からお誘いを受けしていましたが、スタッフがそろわず、また8月の大会は台風との関連で難しく調整ができずにお断りしてしまいました。その後、私も訪問から離れてしまい、昨年度、全訪研の事務局長をしている川上さんからのお誘いで、今回の大会長を引き受けることとなった次第です。

今回はオンラインではありますが皆で語り合い、学び合える大会になることを願い、大会長のご挨拶とさせていただきます。

全国訪問教育研究会第33回沖縄大会（WEB開催）大会長 瀬長 忍
（沖縄県訪問教育研究会会長 沖縄県立那覇特別支援学校校長）

■大会テーマ■

「一人ひとりのいのちが輝く教育をめざして～結^{ゆい} つながろう つなげよう～」

■開催日時■

2021年2月20日（土）10:00～11:30 13:00～16:00

■主催■

全国訪問教育研究会 沖縄県訪問教育研究会

■後援■（申請中）

文部科学省・厚生労働省
 全国特別支援教育推進連盟・全国特別支援学校肢体不自由教育校長会
 全国特別支援学校知的障害教育校長会・全国特別支援学校病弱教育校長会
 社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会・全国訪問教育親の会・全国病弱教育研究会
 全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会・認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク
 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
 沖縄県教育委員会・沖縄県特別支援学校校長会・沖縄県訪問教育親の会
 小児在宅医療基金ていんさぐの会

■大会日程・内容■

<午前部>

10:00～11:30

全体会

- (1) 開会挨拶 榎木 暢子（全国訪問教育研究会会長）
- (2) 大会長挨拶 瀬長 忍（沖縄県訪問教育研究会会長・那覇特別支援学校校長）
- (3) 基調報告 河合 隆平（全国訪問教育研究会副会長）
- (4) 沖縄からの報告
 沖縄の訪問教育の様子を紹介します。30～40分です。
- (5) 大会宣言

<午後部>

13:00～15:00

- (1) シンポジウム「コロナ時代の訪問教育 ～現状と課題～」
 新型コロナウイルス感染症の拡大は、障害の重い子どもたちの生活と教育にさまざまな影響を及ぼし、訪問教育のあり方も大きく問われることになりました。感染拡大から1年間、子どもたちや家族が経験した困難や学校の取り組みを振り返りながら、コロナ禍によって浮かび上がってきた訪問教育の課題や役割について考える機会にしたいと思います。
- (2) 閉会行事
 - ・会長挨拶
 - ・沖縄より
 - ・次回以降の大会について
 - ・歌「小さないのち」

15:20～16:00 ワークショップ

下記のワークショップを予定。参加者のみなさんと相互交流の時間を設けたいと思います。

| | ワークショップ名 | 講師 |
|---|-----------|--|
| A | 訪問なんでも相談室 | 榎木暢子（全国訪問教育研究会会長・愛媛大学） |
| B | コミュニケーション | 高木 尚（全国訪問教育研究会事務局・日本福祉大学） |
| C | 医療的ケア | 下川和洋（全国訪問教育研究会全国事務局 NPO法人地域ケアさぽーと研究所理事） |
| D | ロングタオル体操 | 岡田敏男（全国訪問教育研究会副会長 千葉県立松戸特別支援学校） |
| E | AAC | 荻田知則（愛媛大学） |

■申込み方法■

○申込み期間 12月1日（火）～1月29日（金）

○全訪研HPからの申込となります。URLは以下の通りです。

<http://zenhoken.com/tournament/>

全国大会のページの「参加申込」をクリックし、必要事項を記入して送信してください。

なお、以下のURLからもアクセスできます。

https://docs.google.com/forms/d/1_HSF7jwZonCvYxfm1KtUAavNVy8809pSQT3J2Y4JzHU/edit

■資料の請求について■

大会記録がほしいという場合は、2021年6月に発行される「**訪問教育研究 第33集**」を送付致します。大会の内容や訪問教育に関する資料が掲載されています。代金は、送料込みで、1300円です。ご希望の方は、参加申し込みの際にご連絡ください。

（※全訪研会員には、2021年6月に機関紙「こんにちは」と一緒に「訪問教育研究 第33集」を送付しますので、資料請求の申込みはしないでください。）

■問い合わせ先■

<全訪研会長> 檜木 暢子 kashiki.nagako.mc@ehime-u.ac.jp

<全国事務局長> 長 正晴 chou_masaharu@yahoo.co.jp

○全訪研ホームページ <http://zenhoken.com>

（こちらから開催要項のダウンロードができます。

全訪研に関するいろいろな情報も見られますので、ぜひ、ご覧ください。）

★全訪研メーリングリストに参加しませんか。

訪問教育に関わるみなさんの交流、情報交換の場になれば、と思います。参加希望の方は上記の全国事務局長までご連絡ください。

★全国訪問教育研究会に入会しませんか。

入会すると、訪問教育に関する情報や各地の訪問教育の実践が掲載されている機関紙「こんにちは」を年5回、お送りします。また、年1回、研究誌「訪問教育研究」が会員に送られます。

年会費は4,000円です。入会を希望される方は、上記の全国事務局長までご連絡ください。